アロエース定期点検チェックシート

チェック項目						
	点検異常なし	レ	調整	A	お客様	TEL
	適合項目	○	締付	T		
			清掃	C		
			交換	X	所在地	
	除外項目	―	修理	△		

ご承認

用途 ☑一般空調 ☐ヘビーロード ☐プロセス冷却

試運転年月日 年 月 日

燃料 ☑ガス・ガス質(13A) ☐灯油 ☐A重油(1種1号)

☐熱媒 ☐蒸気

☐冷房切替点検 ☑冷房中間点検 ☐暖房切替点検 ☐暖房中間点検 ☐あんしん点検

顧客管理No

CH形式	製造番号	
G40	1	04060025
	2	
	3	

■ 本体関係

- ☑ 機器外観、水平確認
- ☑ 異常音、振動の有無
- ☑ 本体発錆、断熱劣化、はがれ
- ☒ Pdセルヒーターの作動
- ☑ 冷暖切替弁の作動、手動レバー位置確認
- ☑ 制御弁の作動(溶液、冷媒)
- ☑ 溶液循環ポンプの運転電流測定
- ☑ 各部の温度測定
- ― 蒸気弁洩れ、熱媒洩れ確認
- ― 冷房Hi運転時間の読み
- ☑ 真空排気の実施(蒸発器、ガス貯蔵室)
- ☑ 真空バルブの点検(空気漏れの有無)
- ― 溶栓の点検(シリコン補充)

■ 冷却水管理

- ― 冷却水圧力損失確認
- ☑ 冷却搭散水器の回転数、水位確認
- ☑ 冷却水温度制御の適正確認
- ☑ 冷却水配管エアー噛み点検
- ☑ 冷却水コイルスケール汚れ診断(LTD)
- ― 導電率測定による濃縮倍数診断
- ☑ ブローダウン量の設定
- ― 水処理パック剤の消耗
- ― 薬注装置薬剤の消耗
- ― 冷却水補給水の水質分析検体採取
- ― 冷却水循環水の水質分析検体採取
- ― 冷却水コイルの薬品洗浄
- ― 暖房切替時、清水循環後の排水、開放保管

■ 冷却塔関係

- ☑ 水槽、ストレーナ、消音マットの汚れ
- ☑ ボールタップの作動、緩み、グリスアップ
- ☑ 充填材の損傷、変形
- ☑ ファンの回転状態(異音、振動)
- ☑ ファン損傷、羽根軸、リベットの状態
- ― ファンベルトノ張り、ベルトの摩耗、ひび割れ
- ☑ 水槽・配管の水洩れ点検
- ☑ 冷却水ポンプの停止時の水槽、水あふれ
- ☑ クーリングタワースイッチの機能
- ☑ CTS作動温度:ON24℃±2、OFF27.5℃±2
- ― 暖房時の冷却水配管、冷却塔水槽水抜き

■ 冷温水、冷却水の確認

- ☑ 冷温水量の確認・冷却水量の確認
- ☑ 冷温水流量スイッチ(FS1)ON・OFF確認
- ― 冷却水流量スイッチ(FS2)ON・OFF確認

■ 電気関係

	低	中	高
	号	号	号

- ― 冷温水、段階制御の設定
- ☑ リレー、マグネット類の異音、発熱、チェタリング
- ☑ 端子の緩み、コネクター類の接続
- ☑ 絶縁抵抗10MΩ以上 1: 50 2: 3:
- ☑ センサー伝熱部のシリコン量の点検、補充
- ☑ 制御動作の機能点検
- ☑ 補機運転電流の測定
- ☑ 補機サーマルリレー設定値の適合

(運転電流値の1.1～1.2倍の値で設定すること)

補機	試運転時電流値A	運転電流値A	サーマル設定値A
冷温水ポンプ	50Hz	7.5	10.5
冷却水ポンプ	〃	8	10.5
冷却塔ファン	50Hz	4.8	6.2
送風機	〃	3.5	4
溶液循環ポンプ	〃	6.3.5	6

■ 燃焼管理

- ☑ フレームロッド、点火ロッドの汚れ、劣化、位置
- ― ガス焚、バッフル板の損傷劣化
- ― 油焚Cds又はAFD受光面(のぞき窓)汚れ
- ― 油焚スタビライザー、点火ロッド、インナーチューブ汚れ
- ― 油焚スタビライザー焼損
- ― 再生器又は高温再生器清掃
- ― オイルポンプ油洩れ
- ― カップリングの摩耗
- ― オイルポンプ、電磁ポンプの加圧機能
- ☑ 電磁弁、ガバナ、調圧弁の作動機能
- ☑ 送風機の運転状態、異音、振動の有無
- ☑ ガス焚インプット実測
- ☑ ガス焚排ガス分析
- ― 油焚排ガス分析(SS-NO)
- ☑ ガス焚フレーム電流の測定(点火時)
- ☑ バーナの設定確認、調整(風圧、ガス圧、油圧)
- ☑ ガス焚エアーノズル、ガスノズルの汚れ、詰まり
- ― 灯油焚のノズル汚れ、詰まり
- ― A重油焚のノズル分解洗浄、フィルター詰まり
- ― 灯油焚、A重油焚オイルストレーナの詰まり
- ☑ 点火、火移り、消火状態
- ☑ ガス焚停止中のガス漏れ
- ☑ ガス焚燃焼中のガス漏れ検知器でのガス漏れ
- ☑ 機内排気洩れ
- ― 室内設置の給換気点検(送、排風機)
- ― 室内設置の給気ガラリ汚れ、詰まり(防虫網)

■ 熱媒・蒸気インプット管理

- ― 熱媒インプットの確認、熱媒入口温度確認
- ― 蒸気インプットの確認、蒸気入口圧力確認

■ 溶液管理

- ― 溶液分析用希溶液採取
- ― 溶液精成の実施
- ― インヒビターの添加(タイプ/量)
- ― 強制希釈運転の実施
- ― 溶液調整(濃度・量)

■ 溶液分析:二重効用2年又は冷房燃焼時間6,000H

溶液管理	項目＼号機	1号機	2号機	3号機
	稀溶液採取			
	溶液精成			
	インヒビタの添加	// cc	/ cc	/ cc
	強制稀釈運転			

■ 各部の温度測定

	参考温度:冷/暖	1号機	2号機	3号機
蒸発器℃	5.0℃/55℃	5.2		
凝縮器℃	42℃以下/ ―	36.5		
冷却水出口℃	40℃±5 / ―	34		
冷却水入口℃	32℃以下/ ―	30		
高温再生器℃	160℃以下 /122℃以下	134		
冷温水出口℃	7.0℃ /55℃	7		
熱媒入口℃	65～95	—		
(冷温水入口℃)	12.5℃/48.4℃	—		

■ 各運転時間(ACT3, ACT5にて確認)

1号機	冷房運転時間		冷房燃焼時間		高燃焼時間
	暖房運転時間		暖房燃焼時間		燃焼回数
	SP運転時間		SP運転回数		
2号機	冷房運転時間		冷房燃焼時間		高燃焼時間
	暖房運転時間		暖房燃焼時間		燃焼回数
	SP運転時間		SP運転回数		
3号機	冷房運転時間		冷房燃焼時間		高燃焼時間
	暖房運転時間		暖房燃焼時間		燃焼回数
	SP運転時間		SP運転回数		

■ 部品交換 (部品名記入及び該当機に○印)

No	部品名	1号機	2号機	3号機

【定期点検結果 ☑正常 ☐異常 ☑要注意
(異常、要注意の場合は内容、処置を記入)

経年機につき要注意、(1990年製)

SS店 テクノ矢崎株式会社 白井

点検者 [印] 点検年月日 2016 年 8 月 12 日

◆データ

項目＼号機			基準値	1号機	2号機	3号機
真空管理	冷房Hi運転時間 h	今回読み	―			
		前回読み	―			
		冷房Hi	―			
真空排気	蒸発器cc		―	0		
	ガス貯蔵室cc		―	100		
	合計cc・H²・他		0.1cc/Hr・RT	100		
	発生量cc/h		0.1cc以下	—		
SP電流値A	U・V・W		試運転時の値( )	2.5		
	X・Y・Z		試運転時の値( )	1.6		
冷温水量	入口圧力kPa		試運転時の値( )			
	出口圧力kPa		試運転時の値( )			
	圧力損失kPa		銘板値( )	銘板値( )	銘板値( )	銘板値( )
	定格流量比%		80～120%以内			
冷却水量	入口圧力kPa		試運転時の値( )			
	出口圧力kPa		試運転時の値( )			
	圧力損失kPa		銘板値( )	銘板値( )	銘板値( )	銘板値( )
	定格流量比%		100～120%以内			
	LTD ℃		4℃以下	2.5		
	導電率・濃縮倍数		800μs/cm以下	補給水 μs/cm、循環水 μs/cm濃縮倍数 倍		
	ブローダウン量%		0.5～2.5%	0.6		
	パック剤交換		―	メーカー :薬剤 個		
	薬注装置・薬剤補充		―	メーカー :薬剤		
	冷却水コイル洗浄		LTD4℃以上	メーカー :洗浄剤		
燃焼管理	バーナ形式		バーナー銘板	GBR40S		
	風圧 kPa	Ex(Hi)	試運転時の値( )	—		
		Hi(Mid)	試運転時の値( )	0.8		
		Lo	試運転時の値( )	0.18		
		Pi	試運転時の値( )	—		
	ガス圧 kPa	Ex(Hi)	試運転時の値( )	—		
		Hi(Mid)	試運転時の値( )	1		
		Lo	試運転時の値( )	0.16		
		Pi	試運転時の値( )	—		
	油圧 kPa	油圧	試運転時の値( )			
		Hi(Mid)戻り油圧	試運転時の値( )			
		Lo戻り油圧	試運転時の値( )			
	インプット	Ex %	90～110%以内			
		Hi %	90～100%以内	100		
	ガス焚フレーム電流値μA		パイロット確認時2μA以上	43		
	ガス焚 O_2%	Ex	4.5～6.5%以内			
		Hi(Mid)Lo	4.5～8.0%以内	5.8 5.0	・ ・	・ ・
	ガス焚CO・ppm	Ex.Hi(Mid)Lo	100ppm以下	・0・0	・ ・	・ ・
	油焚 ss-No	Ex(Hi)	3以下			
		Hi(Mid)	3以下			
		Lo	3以下			

2008年1月8日改訂版

②お客様控